

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日 更新

事務事業名		スポーツイベント開催事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3 教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	11 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	山城 建也
	施策の柱	40 スポーツの啓発と参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10772	根拠法令	スポーツ基本法	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		
		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑫							

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・スポーツ推進委員主催として、7月にニューススポーツ体験会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月に健康カントリーマラソン大会、3月にノルディックウォーキング体験会の4大会を開催。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。また、スポーツフェスティバルは、合併以前の旧町で行われていた町民体育祭に替わる事業として開始した。合志市でも旧町で行われていたような体育祭を行うかどうかの検討をおこなったが、人口に対する開催場所の問題、地区対抗に係る旧町単位での構成の違いなど課題が多く今回のフェスティバル開催に至っている。 7月に実施したニューススポーツ体験会は例年、各区対抗ニューススポーツ大会として実施しているが、H29年度は熊本地震の影響によりニューススポーツ体験会として変更し実施した。 3月に実施したノルディックウォーキング体験会は、例年春ウォークラリー大会として実施しているが、H29年度は市の行事が3月後半に集中しており、3月上旬での実施となったため気候等の関係からノルディックウォーキングの実施となった。
【業務の流れ】	・ニューススポーツ体験会 ・推進委員会にて体験会概要について決定→回覧にて各区体育部長等への参加呼びかけ→備品の準備→会場一体験会の開催→片付け ・スポーツフェスティバル ・推進委員会にて大会概要について決定→回覧にて各区への参加呼びかけ→備品、賞品の準備→会場一体験会の開催→片付け ・各種目協会の大会→体育協会種目団体へ協力を呼びかける。開催する団体に体育協会から補助金を交付する。 ・健康カントリーマラソン大会 ・推進委員会にて大会概要について決定→全戸配布にて参加呼びかけ→備品、賞品の準備→会場一体験会の開催→片付け ・ノルディックウォーキング体験会 ・推進委員会にて体験会概要について決定→回覧にて参加呼びかけ→備品の準備→会場一体験会の開催→片付け
【主な予算費目】	・時間外勤務手当、休日勤務手当、報償費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料および賃借料
【意見や要望】	◆スポーツフェスティバル ・共催された体育協会種目協会からは、開催場所が無料になる、広報等を市が行ってくれるなどメリットが大きいという意見がある。 ◆イベント全体の参加人数 ・H29年度のイベント参加人数が例年に比べて減少している。原因として、募集期間が短いことがあげられる。H30年度からは募集期間を延長し、より多くの市民の参加を促す。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) ・7月に例年行われている各地区対抗ニューススポーツ大会をニューススポーツ体験会として、10月にスポーツフェスティバル、1月に健康カントリーマラソン、3月に春ウォークラリーをノルディックウォーキング体験会として開催。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・6月に各地区対抗ニューススポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月に健康カントリーマラソン大会、3月に春ウォークラリーの4大会を開催。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 参加者数	人	時間外勤務手当と休日勤務手当のほとんどがスポーツイベント関係だったため、スポーツ体験教室開催事業から移行。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民および市内在勤者	人	→ ア 市民及び在勤者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・市民、在勤者の健康増進、親睦融和を図る。	%	→ ア 参加率
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・市民の健康増進と親睦を目的としているので、できるだけ多くの市民が参加することが望ましいため。 また、健康と親睦は数値化することができないため。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標		人	人		1,696	732	1,700	760	1,700	1,700	1,750	0
② 対象指標		人	人		60,008	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	0
③ 成果指標		%	%		2.7	1.2	2.8	1.2	2.8	2.8	2.8	0
投 入 費 量	事業 費 内 訳	財源	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円		156	725	19	730	725	725		
		繰入金	千円									
		一般財源	千円	1,906	1,420	1,485	1,444	2,178	1,485	1,485		
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	1,906	1,576	2,210	1,463	2,908	2,210	2,210	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5	0
	延べ業務時間		時間	800	760	760	1,634	760	760	760	0	
	(B)人件費計		千円	2,970	0	3,027	6,464	3,027	3,027	3,027	0	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,876	1,576	5,237	7,927	5,935	5,237	5,237	0	

事務事業名	スポーツイベント開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 地震の影響により、形を変えた大会もあったが全て開催できた。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各区への参加依頼を継続していく。また、共催種目大会については、期日が重ならないように早めに期日の決定を種目協会へ依頼する。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 共催種目協会の大会は、期日の調整を早めに行うことで参加者が増える可能性がある。市主催のフェスティバルは、毎年参加している区では参加者が増える傾向にある。まったく参加しない地区が多いため、それらの地区が参加するようになれば、参加者が増加する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成27年度から類似事業を統合し、事業を進めている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事行を統合し、必要経費の削減に努めた。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事行を統合し、人件費削減に努めた。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 各種目団体で行われる大会についてはそれぞれ参加費を徴収されているが、市の開催事業分については市民誰もが無料で参加できる大会となっており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 各種目団体の大会運営はそれぞれの団体に完全に移行しているが、各地区にスポーツイベントのリーダーができれば、役割の移行ができる。

3 評価結果の総括（CHECK）

開催時期である10月は多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。また、参加賞などの無駄がないように、早めの募集等が必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） イベントの募集期間が短く参加者数が減少しているため、今後は募集期間を延長し参加者数増加を目指す。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上		○																									
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 イベントの募集期間が短く参加者数が減少しているため、今後は募集期間を延長し参加者数増加を目指す。																												